

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	福岡工業大学との共用 大学隣接地を購入した ため、区分「その他」 の校地を7,817㎡に 変更した。(2) 大学隣接地を購入した ため、区分「その他」 の校地を8,1507㎡に 変更(3)			
	校 舎 敷 地	— ㎡	80,135㎡	— ㎡	80,135㎡				
	運 動 場 用 地	— ㎡	90,232㎡	— ㎡	90,232㎡				
	小 計	— ㎡	170,367㎡	— ㎡	170,367㎡				
	そ の 他	— ㎡	8,150㎡ 7,817㎡ 7,026㎡	— ㎡	8,150㎡ 7,817㎡ 7,026㎡				
合 計	— ㎡	178,517㎡ 178,184㎡ 177,393㎡	— ㎡	178,517㎡ 178,184㎡ 177,393㎡					
(2) 校 舎		専 用 3,819㎡ (3,819㎡)	共 用 40,837㎡ (40,837㎡)	共用する他の 学校等の専用 37,078㎡ (37,078㎡)	計 81,734㎡ (81,734㎡)	福岡工業大学との共用			
(3) 教 室 等		講 義 室 9 室	演 習 室 1 室	実験実習室 1 室	情報処理学習施設 5 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0人)	短期大学部全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 情報メディア学科			室 数 14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌及び視 聴覚資料の数は、福岡 工業大学との共用で短 期大学部として特定 不能なため両組織の合計 数 学生の就学環境を改善 するため図書、学術雑 誌および電子ジャー ナルを計画よりも増や し、完成年度時の予定 数も上方修正(2) 図書増加分は新規購 入、学術雑誌(電子 ジャーナル含む)の減 少分は算出方法の補正 による(3)	
	情報メディア学 科	326,000 [68,900] 322,000 [66,900] (326,230 [68,115]) (322,924 [67,928]) (314,376 [66,773])	1,804 [839] 1,706 [822] (1,704 [819]) (1,804 [839]) (1,706 [822])	800 [89] 782 [87] (765 [78]) (800 [89]) (782 [87])	3,800 (4,051) (3,695)	1,042 (1,042)	0 (0)		
	計	326,000 [68,900] 322,000 [66,900] (326,230 [68,115]) (322,924 [67,928]) (314,376 [66,773])	1,804 [839] 1,706 [822] (1,704 [819]) (1,804 [839]) (1,706 [822])	800 [89] 782 [87] (765 [78]) (800 [89]) (782 [87])	3,800 (4,051) (3,695)	1,042 (1,042)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積 4,422㎡	閱 覧 座 席 数 534 席	収 納 可 能 冊 数 329,611 冊	福岡工業大学との共用				
(7) 体 育 館		面 積 5,471㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場1面		福岡工業大学との共用				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	消費税の増税への対応 の為、学生一人当たり 納付金を第1年次 1,090千円、第2年次 920千円 に変更(2)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	700千円	700千円	700千円	
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円		
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次 1,090 千円 1,038 千円	第 2 年 次 920 千円 868 千円	第 3 年 次 千円	第 4 年 次 千円	第 5 年 次 千円	第 6 年 次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。